

平成22年度教職員による自己評価 集計結果

※ 評価基準

4 = よくあてはまる。大変努力している。	3 = ややあてはまる。努力している。
2 = あまりあてはまらない。あまり努力していない。	1 = 全くあてはまらない。努力不足である。

項目	項目	評価基準(人)				今年平均	昨年平均	評価基準(%) ※右は昨年度結果				4と3の合計%変化		
		4	3	2	1			4	3	2	1	昨年度	今年度	
1	教育活動に意欲的に取り組んでいる。	27	23	0	0	3.5	3.5	54 ₄₇	46 ₅₃	0 ₀	0 ₀	100	・	100
2	各部・学年・教科等と適切な連携をとり、共通理解を図っている。	18	29	3	0	3.3	3.3	36 ₃₀	58 ₆₈	6 ₂	0 ₀	98	↘	94
3	常に教科の学習指導方法の工夫・改善に努めている。	21	27	2	0	3.4	3.4	42 ₄₃	54 ₅₀	4 ₇	0 ₀	93	・	96
4	学力向上のため、基礎・基本定着指導に努めている。	22	27	1	0	3.4	3.5	44 ₅₂	54 ₄₄	2 ₄	0 ₀	96	・	98
5	大学入試動向や問題分析等の情報を進路指導に活かしている。	13	31	6	0	3.1	3.1	26 ₃₁	62 ₅₃	12 ₁₆	0 ₀	84	↗	88
6	生徒の希望する進路の実現に努めている。	21	25	4	0	3.3	3.3	42 ₄₀	50 ₅₅	8 ₄	0 ₂	95	・	92
7	中学校や大学等との連携の推進に努めている。	6	17	26	1	2.6	2.8	12 ₂₀	34 ₄₂	52 ₃₆	2 ₂	62	↓	46
8	生徒の体力・運動能力の向上や、健康増進に努めている。	10	27	14	0	2.9	3.0	20 ₂₅	53 ₅₀	28 ₂₅	0 ₀	75	・	73
9	文武両道の実現を図るため、部活動指導にも十分取り組んでいる。	16	18	14	2	3.0	3.1	32 ₄₄	36 ₃₁	28 ₂₄	4 ₂	75	↓	68
10	基本的な生活習慣や服装について、徹底した指導をしている。	13	33	4	0	3.2	3.2	26 ₄₁	66 ₅₂	8 ₇	0 ₀	93	・	92
11	いつでもどこでも日常的にあいさつができるよう指導を行っている。	19	26	6	0	3.3	3.3	37 ₄₆	51 ₄₄	12 ₁₁	0 ₀	89	・	88
12	交通安全や交通ルール・マナーの指導を行っている。	10	33	7	0	3.1	3.1	20 ₃₃	66 ₄₉	14 ₁₈	0 ₀	82	↗	86
13	人権同和教育の研修と実践に努めている。	4	25	19	2	2.6	2.9	8 ₂₂	50 ₅₃	38 ₂₂	4 ₄	75	↓	58
14	服務規律を厳守している。	34	17	0	0	3.7	3.6	67 ₆₄	33 ₃₄	0 ₂	0 ₀	98	・	100
15	清掃や週番活動への指導を通して美化活動に努めている。	18	31	2	0	3.3	3.4	35 ₄₃	61 ₅₀	4 ₇	0 ₀	93	・	96
16	快適な学習環境のための施設・設備の改善に積極的に関わっている。	18	25	8	0	3.2	3.2	35 ₃₄	49 ₅₀	16 ₁₆	0 ₀	84	・	84
17	適切な会計処理を行っている。	37	14	0	0	3.7	3.7	73 ₆₈	28 ₃₀	0 ₂	0 ₀	98	・	100

(単位は%で小数以下を四捨五入してあります)

【評価分析】

- 全体的に良好な評価で、全項目で評価基準3と4を合わせた割合が高い。
特に、(項目1)教育活動への取り組み、(項目14)服務規律の厳守、(項目17)適切な会計処理の評価が高くなっている。他方(項目7)中学・大学との連携、(項目13)の人権同和教育の研修と実践については低評価となっている。
- 評価が上昇した項目
(項目5)大学入試情報の活用 (項目12)交通安全やマナー指導
- 評価が低下した項目
(項目2)各部・各学年・教科等と適切な連携 (項目7)の中学・大学との連携
(項目9)文武両道実現のための部活動指導 (項目13)人権同和教育の研修と実践
- 総括：今年度は学力向上や進路指導並びに交通安全指導等に更に力点を置いて指導した教員が多かった。その一方で、中学・大学との連携等の取り組みに十分でない点があるという意識を持っている。

↑	(+10%~)
↗	(+4%~+9%)
・	(-3%~+3%)
↘	(-9%~-4%)
↓	(~-10%)